



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月26日

上場取引所 東

上場会社名 都築電気株式会社

コード番号 8157 URL <http://www.tsuzuki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 日浦 秀樹

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 石丸 雅彦

TEL 03-6833-7704

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	20,202	1.1	△1,140	—	△1,152	—	△657	—
25年3月期第1四半期	19,987	1.1	△1,055	—	△1,159	—	△915	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △586百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △1,107百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第1四半期	△55.02	—
25年3月期第1四半期	△56.28	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第1四半期	56,932	17,433	30.6	1,458.18
25年3月期	64,036	18,045	28.2	1,513.02

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 17,433百万円 25年3月期 18,045百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	50,800	1.1	250	—	200	—	30	—	2.51
通期	102,000	1.3	1,500	58.6	1,400	69.3	800	79.4	66.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	25,677,894 株	25年3月期	25,677,894 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	13,722,383 株	25年3月期	13,751,365 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	11,942,184 株	25年3月期1Q	16,273,395 株
----------	--------------	----------	--------------

自己株式数については、従業員持株ESOP信託口が保有する当社株式(26年3月期1Q 249,000株、25年3月期 279,000株)を含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新政権の経済政策により円高是正や株価の回復が続き、景況感判断指数も改善傾向が持続しております。また、設備投資も内需型企業の投資意欲が回復してきており、幅広い分野で景気回復への期待感が高まってきております。しかしながら、電力料金や食料品等の値上げの影響、長引く欧州経済の停滞や新興国経済の減速等依然として景気の先行きは楽観視できない状態にあります。

当社グループが関連する情報サービス産業の経営環境は、業務システムの更新や新規システム構築案件等、抑制や先送りの傾向が続いていた企業の情報システム投資に改善の兆しが見え始めておりますが、お客さまの低コスト志向に対応するための価格競争は熾烈化しており、厳しい環境が継続しております。

このような状況のもと、情報ネットワークソリューションサービスの売上は前年実績を上回ったものの、利益につきましては下回る結果となりました。

また、電子デバイスにおきましても中国市場の減速と長期的な欧州市場の低迷の影響により売上は前年実績を上回るも、利益につきましては下回る結果となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高202億2百万円（前年同期比1.1%増）、営業損失11億40百万円（前年同期は10億55百万円の損失）、経常損失11億52百万円（前年同期は11億59百万円の損失）、四半期純損失6億57百万円（前年同期は9億15百万円の損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は次のとおりです。

情報ネットワークソリューションサービス
---------------------

ネットワークソリューションサービスにつきましては、前期に引続き金融、製造、公共、鉄道関連業務等のお客さまを中心にネットワークインフラの構築商談やボイスソリューションを中心としたサービスビジネスを展開いたしました。

特に金融関連ビジネスにおけるモバイルソリューションの展開や、鉄道関連ビジネスにおけるネットワークインフラビジネスは堅調に推移いたしました。また、スマートフォン等のモバイルソリューションサービスやテレビ会議システム・デジタルサイネージ等のビジュアルコミュニケーションサービスにも積極的に取り組み、今後のビジネスモデルの拡大を図りました。

システムインテグレーションサービスにつきましても、従来からの投資意欲が旺盛な流通サービス、製造、食品、医療ヘルスケア関連業務等のお客さまを中心にソリューションビジネスを展開し、売上は堅調に推移いたしました。中でも、クラウドを主としたサービス型ビジネス（モバイル・LCM<sup>\*1</sup>を含む）が流通サービス関連のお客さまに堅調に推移いたしました。また、得意とする介護・福祉、不動産、生鮮流通業務等のソリューションサービスを中小企業向けにテンプレート<sup>\*2</sup>化した商品「KitFit（キットフィット）」の拡販に注力し、こちらにつきましても堅調に推移いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は145億68百万円（前年同期比2.2%増）、営業損失は10億69百万円（前年同期は10億16百万円の損失）となりました。

<sup>\*1</sup> LCM (Life Cycle Management) サービス

お客さまのIT環境の設計から移行、運用、継続的改善までをサポートし、IT資産のライフサイクルをトータルで管理するサービス

<sup>\*2</sup> テンプレート

お客さまの業務に合わせた当社保有のひな型

電子デバイス
--------

半導体ビジネスは、FA機器向けLSIは緩やかな回復傾向にあるものの、引き続き中国を中心とした海外における需要の低迷により、計画を下回る状況となりました。一方、フリーテリトリービジネスの一つであるLCDが国内外において自動車向けに大きく伸長しましたが、損益面では急激な円安進行による輸入価格の上昇により、全体を押し上げるまでには至りませんでした。

電子機器ビジネスは、産業機器用途の組み込み向けHDDが堅調に推移し、ソリューション分野向けPC・サーバ・ソフトビジネスも好調に推移いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は53億25百万円（前年同期比0.5%増）となり、営業損失は23百万円（前年同期は5百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては、前連結会計年度末と比較して71億3百万円減少し、569億32百万円となりました。この主な要因は、売上債権の減少56億20百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して64億91百万円減少、394億99百万円となりました。この主な要因は、仕入債務の減少63億48百万円及び借入金の返済（純額）15億11百万円によるものであります。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して6億11百万円減少し、174億33百万円となり、自己資本比率は30.6%（前連結会計年度末は28.2%）となりました。この主な要因は、利益剰余金の減少7億4百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月10日に公表しました平成26年3月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,862	13,950
受取手形及び売掛金	20,756	15,136
たな卸資産	8,744	9,654
繰延税金資産	1,004	1,498
未収還付法人税等	35	41
その他	1,156	721
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	48,546	40,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,648	1,655
減価償却累計額	△727	△740
建物及び構築物(純額)	921	915
機械装置及び運搬具	10	10
減価償却累計額	△9	△9
機械装置及び運搬具(純額)	1	1
土地	2,334	2,334
リース資産	935	981
減価償却累計額	△429	△475
リース資産(純額)	506	506
建設仮勘定	832	934
その他	789	791
減価償却累計額	△666	△672
その他(純額)	123	118
有形固定資産合計	4,719	4,810
無形固定資産		
のれん	262	238
リース資産	497	907
その他	573	572
無形固定資産合計	1,333	1,719
投資その他の資産		
投資有価証券	3,810	3,812
長期貸付金	163	155
繰延税金資産	3,242	3,225
長期預金	900	900
その他	1,473	1,471
貸倒引当金	△153	△152
投資その他の資産合計	9,436	9,412
固定資産合計	15,489	15,942
資産合計	64,036	56,932

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,995	11,646
短期借入金	10,793	9,325
1年内返済予定の長期借入金	2,836	2,831
リース債務	492	568
未払法人税等	402	45
賞与引当金	2,033	1,207
受注損失引当金	152	10
その他	3,289	5,438
流動負債合計	37,994	31,073
固定負債		
長期借入金	190	152
リース債務	648	990
繰延税金負債	1	1
退職給付引当金	6,964	7,118
長期未払金	187	158
負ののれん	0	0
その他	5	5
固定負債合計	7,996	8,425
負債合計	45,991	39,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,812	9,812
資本剰余金	4,102	4,102
利益剰余金	14,231	13,526
自己株式	△10,560	△10,537
株主資本合計	17,586	16,903
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	474	521
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△16	8
その他の包括利益累計額合計	458	529
純資産合計	18,045	17,433
負債純資産合計	64,036	56,932

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	19,987	20,202
売上原価	17,127	17,394
売上総利益	2,860	2,807
販売費及び一般管理費	3,916	3,948
営業損失(△)	△1,055	△1,140
営業外収益		
受取利息	6	0
受取配当金	25	27
負ののれん償却額	8	0
為替差益	8	2
その他	13	11
営業外収益合計	63	42
営業外費用		
支払利息	48	44
支払手数料	109	—
その他	9	9
営業外費用合計	167	54
経常損失(△)	△1,159	△1,152
特別利益		
投資有価証券売却益	0	34
災害損失引当金戻入額	5	—
特別利益合計	5	34
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	3	—
特別退職金	16	21
事務所移転費用	—	0
特別損失合計	19	21
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,173	△1,139
法人税等	△258	△482
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△915	△657
四半期純損失(△)	△915	△657



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△915	△657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△169	47
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△22	24
その他の包括利益合計	△191	70
四半期包括利益	△1,107	△586
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,107	△586
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	情報ネットワー クソリューション サービス	電子デバイス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,253	5,297	19,550	437	19,987	—	19,987
セグメント間の内部 売上高又は振替高	23	47	70	82	153	△153	—
計	14,276	5,344	19,621	520	20,141	△153	19,987
セグメント損失 (△)	△1,016	△5	△1,022	△38	△1,060	5	△1,055

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器の販売施工や環境装置、計測制御機器の販売及び人材派遣業等を含んでおります。

2 セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	情報ネットワー クソリューション サービス	電子デバイス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,568	5,325	19,894	308	20,202	—	20,202
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	61	75	73	148	△148	—
計	14,583	5,387	19,970	381	20,351	△148	20,202
セグメント損失 (△)	△1,069	△23	△1,092	△50	△1,143	3	△1,140

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器の販売施工や環境装置、計測制御機器の販売及び人材派遣業等を含んでおります。

2 セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。